

火災・救急・救助統計について

1 火災統計

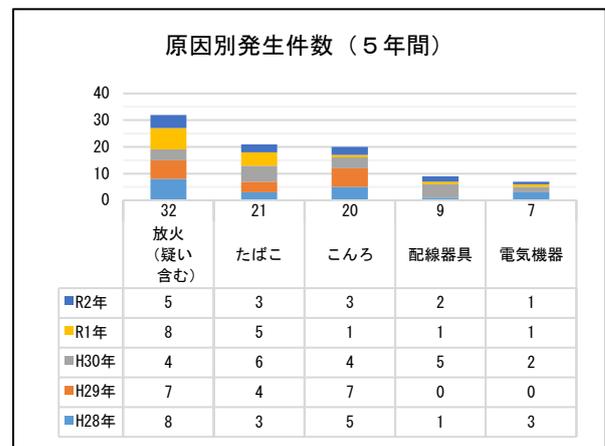
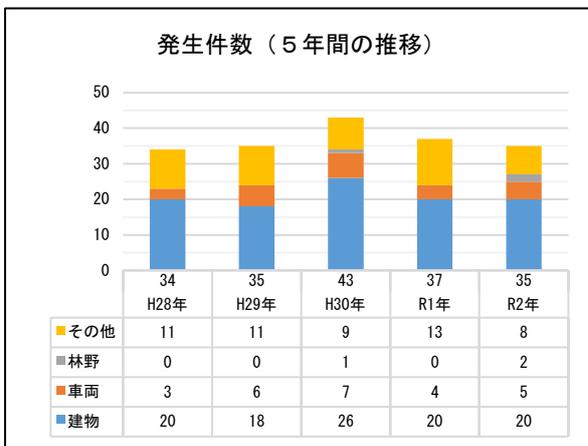
(1) 発生件数

令和2年中の火災の発生件数は35件で、令和元年中の37件と比較し2件減少しています。また、過去4年間の平均発生件数37.3件との比較でも2.3件少なくなっています。

なお、35件のうち「建物火災」の発生件数は20件で、火災全体の57.1%を占めています。

(2) 火災原因

令和2年中に発生した火災の原因を見ると、「放火又は放火の疑い（5件）」、「たばこ（3件）」、「こんろ（3件）」が上位を占めています。直近5年間の原因別発生件数でも「放火又は放火の疑い」が最も多く、次いで「たばこ」、「こんろ」の順となっています。



2 救急統計

(1) 出動件数

令和2年中の出動件数は7,971件で、令和元年中の9,226件と比較し1,255件減少しています。また、過去4年間の平均出動件数9,029.3件との比較でも1,058.3件少なくなっています。

(2) 搬送人員

令和2年中の搬送人員は7,528人で、令和元年中の8,657人と比較し1,129人減少しています。また、過去4年間の平均搬送人員8,481.3人との比較でも953.3人少なくなっています。

(3) 事故別搬送人員

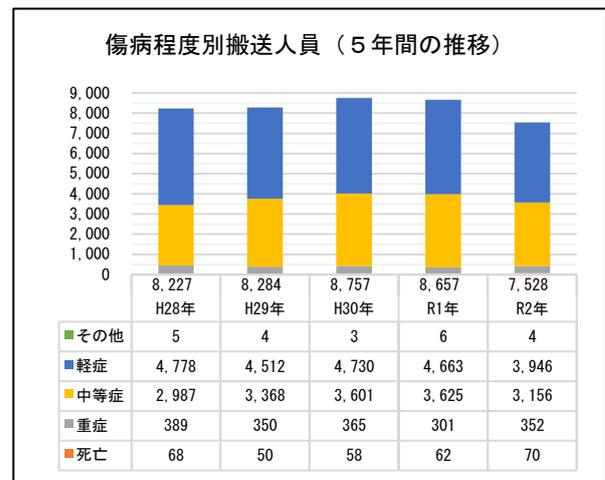
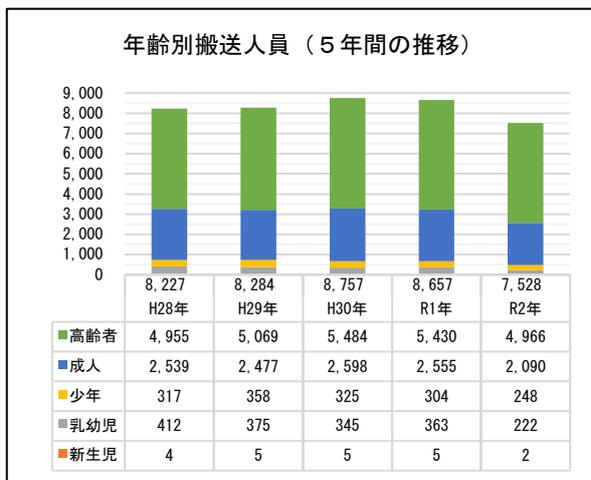
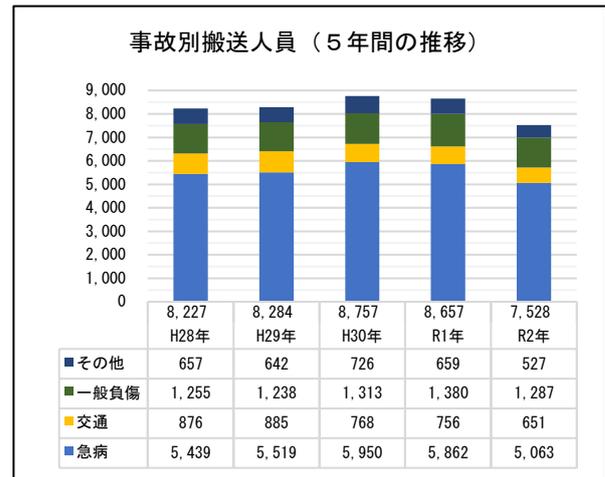
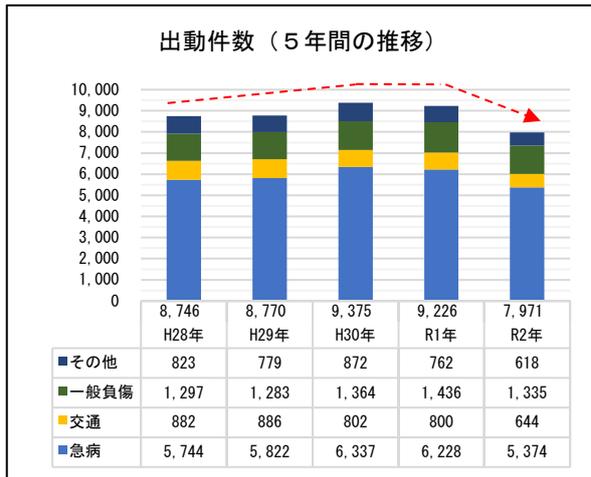
令和2年中の事故別搬送人員で最も多かったのは、全体の67.3%を占める「急病」の5,063人で、令和元年中の5,862人と比較し799人減少しています。また、過去4年間の「急病」による平均搬送人員5,692.5人との比較でも629.5人少なくなっています。

(4) 年齢別搬送人員

令和2年中の年齢別搬送人員で最も多かったのは全体の66.0%を占める「65歳以上の高齢者」の4,966人で、令和元年中の5,430人と比較し464人減少しています。また、過去4年間の「65歳以上の高齢者」の平均搬送人員5,234.5人との比較でも268.5人少なくなっています。

(5) 傷病程度別搬送人員

令和2年中の傷病別搬送人員で最も多かったのは全体の52.4%を占める「軽症」の3,946人で、令和元年中の4,663人と比較し717人減少しています。また、過去4年間の「軽症」による平均搬送人員4,670.8人との比較でも724.8人少なくなっています。



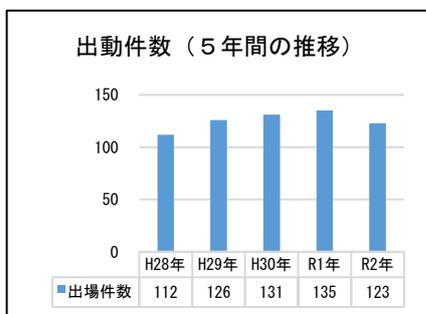
3 救助統計

(1) 出動件数

令和2年中の出動件数は123件で、令和元年中の135件と比較し12件減少しています。また、過去4年間の平均出動件数126.0件との比較でも3件少なくなっています。

(2) 事故別出動件数

令和2年中の事故別出動件数で最も多かったのは「建物等による事故」の85件で、救助全体の69.1%を占めています。次いで「その他の事故（15件）」、「交通事故（14件）」が上位を占めています。5年間の事故別発生件数でも、「建物等による事故」が最も多く、次いで「交通事故」、「その他の事故」の順となっています。



※建物等による事故とは、建物、門、柵、へいなど、建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいいます。

